令和３年度　国立吉備青少年自然の家教育事業
自然体験フォローキャンプ２０２１

１．事業の目的（趣旨・ねらい）

宿泊体験活動を通して「ルールを守り、協力する」という目標を当施設を中心に早寝・早起きなど基本的な生活を送りながらその目標を達成する。

２．事業の概要

（１）期日

令和３年８月２日（月）～３日（火）

（２）参加者

社会福祉法人鳥取上小児福祉協会　天心寮
２３人（小学生４人、中学生１１人、職員８人）

（３）講師等

株式会社　おおさネイチャークラブ

（４）企画・運営のポイント

① 所外での活動について、連携施設（天心寮）の職員とともに事前に活動場所の下見やプログラムの体験を行うことで、子供たちが安全に活動できるようにした。

② 所内活動については、全員で協力することを意識したが、シャワートレッキングやカヌー体験については、年齢や体力を考慮したチーム分けを行い、それぞれの子供に適した活動が行えるようにした。

３．活動の内容等

（１）日程

８月２日（月）		８月３日（日）	
10:30	入所式	6:15	起床・洗面
11:00	アイスブレイク	7:00	朝食
12:30	昼食	7:30	移動
14:00	スコアオリエンテーリング	10:00	カヌー（小学生）
16:00	野外炊事		シャワートレッキング（中学生）
20:00	入浴	12:00	昼食
21:00	暗闇探検	13:00	カヌー（中学生）
22:00	就寝		シャワートレッキング（小学生）
		15:30	退所式

（２）活動の状況

【スコアオリエンテーリング】

【野外炊事】

【カヌー体験】

【シャワートレッキング】

４．成果・課題

（１）満足度

満足：５０％　　やや満足：４９％　　やや不満：1%

（２）参加者の声

出発前は消極的だった子供が、プログラムを通していきいきと積極的になっていく姿が印象的でした。

（３）成果

当所だけではなく、所外での活動も取り入れたことで、プログラムの幅が広がり、子供たちに豊かな体験を提供することができた。

（４）今後の課題

①　子どもたちへの関わり方について、細かな支援が行えるようにスタッフ全体（児童養護施設、当所職員、ボランティア）で事前の打ち合わせをする機会を設ける。

②　県内の児童養護施設に当所の事業情報が伝わるような広報の仕方を考え、参加しやすい状況を作る必要がある。

担当：事業推進係兼企画指導専門職付
竹井　楓夏